

学校通信

3
2019 MAR
第 191 号

学校生活における大切なお知らせです

INDEX 目次

- メッセージ・・・・・・・・・・ ②
- スケジュール
& インフォメーション・・・・ ③
- 教務部からのお知らせ・・・・ ④
- 進路支援からのお知らせ・・・・ ⑤
- 今月の聖句・・・・・・・・・・ ⑥

ENCLOSURE 同封物

<全年次>

- ☆大阪青年 3 月号
- ☆2019 年度学務の手引き
- ☆学校評価（保護者用）
- ☆2019 年度の誓約書

●新年度ホームルーム：4/12(金)

新 2 年次：10:30～11:20

新 3 年次：11:30～12:20

●高認ガイダンス：4/12(金)12:25～12:55



学院高校 LINE
QR コード

学校通信はバックナンバーを含め、ホームページで閲覧できます。
<http://www.ymcagakuin.ac.jp>
Facebook も更新中です！「YMCA 学院高等学校」で検索してください！！

メッセージ ～ 3 月の言葉 ～

3 月は別れと出会いの季節。悲喜こもごものシーンに立ち会います。3 月 8 日の卒業礼拝もそうでした。そこでは卒業生 157 人が巣立っていきました。

門出に際して私は、イギリスのリンダ・クラットンさんの著書「LIFE SHIFT」の文章を思い出しました。

「これからは人生 100 年で考える時代。これまでの 20 歳位まで勉強をし、60 歳頃まで仕事、その後余生を生きる、そんな時代ではなくなりつつあります。働き方も会社勤めだけではなく組織に雇われない働き方もあります。仕事をしながら新しい力をつけ、視野や人とのつながりも広げながら、途中で違う道へ進むこともできます。ボランティアや地域活動も長い人生の中ではとても大切になります。そのために、自分らしく生きるということがどういうことを常に意識し、イメージし、行動することが非常に大事です。

これからは、学び、遊び、そして仕事（まだ先の人もありますが）のバランスをとりつつ、身体を大切にし、できる限り健康で過ごしてほしいと願います。自分の知識やスキル、自分に元気を与えてくれる人々、家族や友達を大切にし

てください。そして柔軟に自分を変えていくことも非常に重要です...」

生徒たちが入学した時から、どんな人になってほしいかをいつも思います。究極は幸せな人生を送ってほしい、と思っています。そのためには自分のことが好きで、今、自分のやっていること、将来関わる自分の仕事に誇りを感じる人、つまり自己肯定感を持つ人になってほしい。この自己肯定感を日々の生活の中で積み重ねることが出来れば、これからの人生、幸せに豊かに生きていけると信じています。

「主がすべての災いを遠ざけて

あなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださいますように

あなたの出で立つのも帰るのも

主が見守ってくださいますように

今も、そしてとこしえに」

（詩編 121 章 7-8 節）

（校長 鍛治田千文）

スケジュール & インフォメーション

3/24~4/27

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
24	25 ・現1年次講座登録	26	27	28	29	30
31	4/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12 ・ホームルーム 新2年次 10:30~11:20 新3年次 11:30~12:20 ・高認ガイダンス 12:25~12:55	13
14	15 ・2019年度生 入学礼拝 @大阪YMCA会館	16	17 ・ウエルカムデイ (Yチャレンジコース)	18 ・ウエルカムデイ (マイスペースコース)	19	20
21	22 ・ウエルカムデイ (スタンダード) ・Yチャレンジコース スクーリング開始	23 ・ヨーガ1 ・マイスペースコース ・グローバルコース ・健康スポーツコース ・進学コース ・マイスペ+コース 各スクーリング開始	24 ・体育b1, c2 スクーリング開始	25 ・イングリッシュカフェ	26 ・体育c3 スクーリング開始	27

学校からのお知らせ 一斉連絡網(さくら連絡網)登録のお勧め

重要

□学校から保護者・生徒の皆さんへの連絡や案内がライン・スマホ等でスムーズにできますので、

特に生徒の皆さんは登録するようぜひお願いいたします。

□2019年2月より導入しております。ご不明な場合は担任までお申し出ください。

OD(起立性調節障害)学習会と生徒・保護者のつどい

□日 時：5月11日(土) 14:00~16:30

□場 所：本校(教室は当日掲示)

□対 象：希望者(生徒・保護者)

□問い合わせ：池田・石倉・横山

※詳細は学校通信4月号にてお知らせします。

海外留学説明会(本校在学中)について

□長年 YMCA と提携しているニュージーランドの留学エージェント「キックオフ NZ」の担当者が来校し、本校在学中の留学について説明をします。ニュージーランドへの留学に興味のある方だけでなく、海外留学の概要を知りたい方もどうぞご参加ください。

□日 時：5月25日(土) 10:00~11:00

□場 所：本校(教室は当日掲示)

□対 象：本校に在籍する生徒・保護者(希望者)

□申 込：電話での申込みまたは職員室での申込み



教務部からのお知らせ

第1回ホームルーム

□ホームルームは下記の日時で行います。

新年度を迎え、ホームルームクラスが変わります。

新ホームルームクラスは、2019年度前期講座登録時に掲示いたします。

日 程	時 限	年 次
4月12日(金) (特別活動1時間)	2 限目 (10:30～11:20)	新2年次生(現1A・1B・1L・1M・1Y)
	3 限目 (11:30～12:20)	新3年次生(現2A・2B・2C・2M・2Y) および卒業しなかった現3年次生

(注)本校は単位制ですので、3年次になっても、そのまま来年3月に卒業できるわけではありません。卒業するためには単位数などの卒業要件を満たす必要があります。

高認ガイダンス

□日 時：4月12日(金) 12:25～13:20 ※会場は当日掲示します。

前期のスクーリング開始

コース	開始日
Yチャレンジコース	4月22日(月)
マイスペースコース	4月23日(火)
グローバルコース・健康スポーツコース 進学コース・マイスペ+コース	4月23日(火)
スタンダードコース	5月7日(火)より随時始まります。 ※一部の講座は先行して4/23から始まります。

□スクーリングは、講座登録で決まった各自の時間割にもとづいて始まります。4月18日発送予定の「生徒別時間割」で確認の上、各自が登録した講座の最初の曜日・時限から出席してください。

2019年度前期レポート集・時間割・教科書の発送

□登録講座にもとづき、届け出住所宛にレポート集と生徒別時間割、および教科書を送ります。

□教科書は、4月下旬に、本校指定の業者(教科書販売㈱)より宅配便で送られますが、入荷の都合や年次順に発送作業をするなどの理由で、正確な時期は予告できません。

遅くとも4月末までには配達される見込みです。

□生徒別時間割・バーコードシール・レポート集は、4月18日(木)頃に本校から郵送します。

※レポートや教科書が届かない場合も、スクーリングには出席してください。

※一部の講座はスクーリング時にレポートを配布いたします。

進路支援からのお知らせ

<次年度卒業予定の皆さんへ>

- 3月から4月にかけては、比較的自由な時間がたくさんあります。新しい年度にむけて準備をし、進路についての情報収集も進めておいてください。
- 随時進路面談(保護者・生徒とも対象)を行っていますので、希望する人は担任まで申し出てください。特に大学進学を希望している人はできる限り早く面談の希望を申し出てください。

スタディサプリの案内

- インターネットでの映像教材であるスタディサプりを学校経由で受講できます(年間14,000円)。特に大学受験対策に効果的で、学校からの勉強サポートも受けることができます。詳しくは担当小林までご連絡ください。

2019年度保護者進路ガイダンスの案内

- 日 時：5月25日(土) 11:00～12:30
- 対 象：卒業年次生保護者(生徒も出席可能ですが特別活動の認定はありません。)
四年制大学を中心に、進路全般に関するガイダンスを行います。
詳細は後日送付いたします。

職業別体験説明会の案内

- 日 時：5月17日(金) 15:10～16:50
- 対 象：本校在籍生(特別活動2時間認定)
- 協 力：TAP
- 専門学校の方をゲストに、職業や必要な資格を説明します。専門学校進学希望者はもちろん、進路を悩んでいる人も積極的に参加してください。





今月の聖句

「神は祝福される。わたしはそれをくつがえすことはできない。」

(民数記 23 章 20 節よ)

バラムは、バラク王の願いどおりに、イスラエルをのろって莫大な報酬を得たかったのですが、どうしても神にとらえられ、主がその口に置いたことばだけを語らざるをえませんでした。一度目も。二度目も。「見よ。祝福せよ、との命をわたしは受けた。神は祝福される。わたしはそれをくつがえすことはできない」と。これには、バラク王も困惑して、「彼らをのろうことも、祝福することもしないでください」と悲鳴をあげるのでした(25 節)。いかに神に背こうとしても神のみむねを語らなければならないバラムの悲喜劇、人がいかに、はかりごとを設けようとも、なるのは、ただ神のみむねのみ、なのです。

いかにサタンがあがこうとも、彼ら自身が神のご計画を進める歯車となるのです。

サタンが、いかにヨブを攻めようとも、イスカリオテのユダが、いかにハシタ金でイエスを売ろうとも、獄卒たちがいかに侮蔑しながら聖衣を分け合おうとも、群衆がいかにパウロをなき者にしようとはかろうとも、すべてはが逆に、神の義を高め、イエスのキリストなることを証明し、パウロの世界伝道を推進していたではありませんか。

(中谷哲造牧師 前大阪南 YMCA キリスト教委員会委員長)



南 YMCA 「キリスト教委員会」 2019-3

